

Sec01-08-2_専門員の所掌業務及び調査分析項目

本資料の概要

目的

- 専門員の実施している業務内容を所掌事務に沿って体系化した手引き
- 専門員で実施内容、実施レベルの認識を共有を図る

改版履歴

- 【2022年3月25日】新体制に向けた整理追記
- 【2022年2月25日】新体制に向けた整理
- 【2022年2月7日】全体再確認
- 【2021年12月16日】2022年度公募要項を反映して見直し
- 【2018年6月6日】係会議資料として提出

2 所掌事務の内容の明示の目的と意義

📌 ドキュメントによる情報の共有とノウハウの蓄積

📌 専門員の知識・ノウハウを形式知化し、発信情報、相談対応の回答内容の均質化を目指す

個人的な暗黙知ではなく、共有可能な知識として

相談者が現在利用もしくは今後利用すべき次世代IT技術、セキュリティ対策技術を、専門員として試行もしくは実用することにより、より実践的な情報発信および相談対応を可能にする

📌 次世代技術、環境の活用のための実践的技術・知識の蓄積

単に見聞した知識ではなく

📌 日々の有用な情報発信

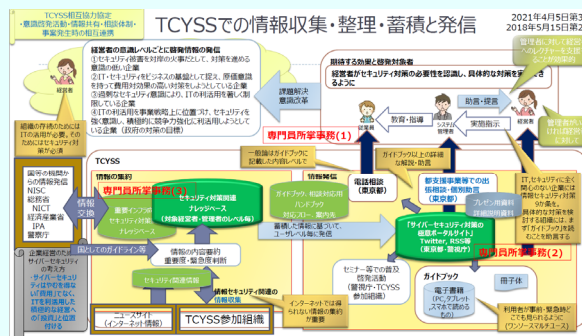
Twitter、ポータルサイトでは、定期的に有用な情報発信することにより、アクセスが多くなり、組織としての存在意義を高める

1 資料目次

- 2 Sec01-08-2-1_専門員業務実施手引き【2022年4月以降】
- 2 Sec01-08-2-2_組織の位置づけと業務実施姿勢
- 2 [×] Sec01-08-2-3_専門員の所掌業務及び行動規範【骨子】
- 2 Sec01-08-2-4_専門員の所掌業務【要約】
- Sec01-08-2-5_専門員業務ハンドブック【要約】
- 2 別添資料
 - Sec01-08-2-6_相談対応手順【要約】
 - Sec01-08-2-6_SNSおよびポータルからの更新情報の発信手順【要約】
- 2 TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信【概念図】

1 Sec01-08-2-1_専門員業務実施手引き【2022年4月以降】

業務概念図



📌 次世代IT技術、セキュリティ関連の情報を収集し、ポイントを整理して、調査レポートに纏める(word文書、Mind Map等)

作業項目

4 情報の収集及び要約（情報収集、予測調査、要約資料の作成）

定常業務

情報のリストアップ

要約資料の作成

（専門員としてのスキル維持、知識の習得）

4 情報の知識化（要約資料から解説資料、プレゼン資料の作成）

- 3 (3) サイバーセキュリティ対策に関連する情報収集・整理及び要約資料の作成
- ※次世代IT技術、セキュリティ関連の情報の収集・整理
- ⇒【情報収集・整理・蓄積】

2 所掌事務の要約

- 3 (2) サイバーセキュリティ対策の普及啓発の実施に関する業務
※普及啓発用の資料の作成及びWeb等での発信
⇒【情報提供】

- 3 (1) サイバーセキュリティに関する中小企業からの相談対応
※メールフォーム、電話、窓口、出張相談など
⇒【個別情報提供】

- 3 (4) その他、課長級、課長代理級からの指示に基づく付随する業務
※「中小企業のサイバーセキュリティ対策関連事業」の企画・実施に関連する情報収集・整理を含む。

専門員の暗黙知を形式知化（相談対応等の質の均質化）
次世代IT技術及びサイバーセキュリティに関して体系的なノウハウ・知識の集約
専門員で共有する解説資料の作成
プレゼン用のコンテンツの作成

4 関係機関との連携

【新規】IPA及び他の相談対応窓口との実務連携
IPAのオンラインコミュニティ[SOLDAN-SIGNAL]
【活動なし】TCYSSメンバーとの情報交換及び連携

※ 調査レポートを基に普及啓発用のドキュメントとして作成し、EPUB文書、html文書に変換して、Web等で発信する

※ ホットな情報は、Twitter、トピックスとして発信する

作業項目

- 4 知識化された資料をもとに「ガイドブック追補資料」、「知識の保管庫（ナレッジベース）」等で発信する啓発用コンテンツとして整形

⇒ガイドブックEPUB、ポータルサイト用原稿作成
EPUBドキュメント（xhtml化）、ポータルサイト（html化）

- 4 知識・情報の発信（啓発資料の公開及び普及啓発活動の実施）

解説資料から発信情報の作成・更新

⇒ガイドブックEPUBの更新、ポータルサイトへのアップロード

研修用でのプレゼンテーション

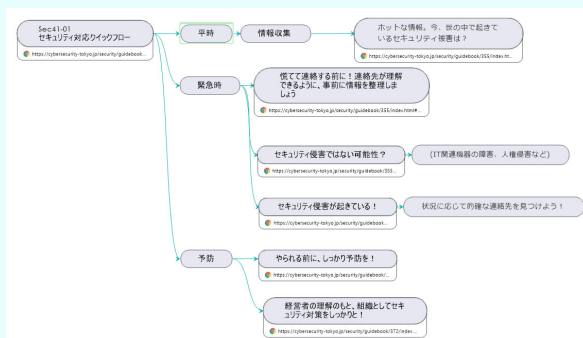
- 4 中小企業に伝えたいホットな情報発信

⇒Twitterで発信

⇒ポータルサイトのトピックスで発信

※ 都内中小企業の経営者、管理者からの相談を受付、専門員同士で相談し、回答、記録をする。回答に当たっては、必要に応じて、他の関係機関に問合わせる。

図



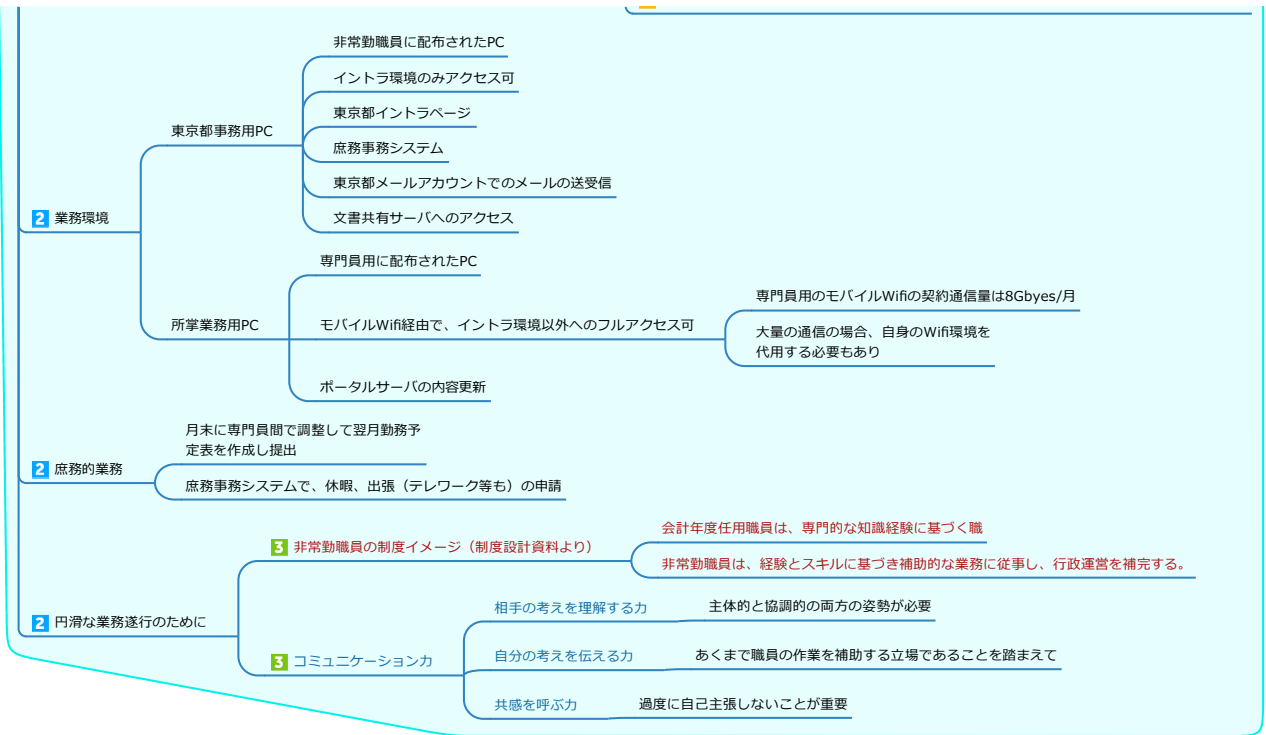
作業項目

相談受付
対応策検討
回答案作成
回答
AccessDBへの入力
FAQ候補リストアップ

課長級、課長代理級からの指示に基づき、「中小企業のサイバーセキュリティ対策関連事業」の実施内容に関する業務を支援する。

作業項目

- 4 「中小企業のサイバーセキュリティ対策関連事業」の成果の知識化と、普及啓発用資料の発信



1 Sec01-08-2-2_組織の位置づけと業務実施姿勢

- 2 商工部として中小企業の事業の発展を支援**
- 経営支援課の中小企業の発展のための施策の1つとして、IT活用の推進があり、IT活用を阻害する要因の1つとしてセキュリティ対策を考える

- 3 専門員は、中小企業において、「経営者、システム管理者が、「デジタルリテラシー」の知識とスキルを得て、①守りのIT・セキュリティ対策に留まらず、②事業を発展させるための攻めのIT・セキュリティ対策を講じことを支援する。**

※ITの知識を持たずにセキュリティ対策を講じることは困難。セキュリティ対策は、IT活用の推進の中でセキュリティバイデザインの考え方で対処する

- ②守りのIT・セキュリティ対策
- ①攻めのIT・セキュリティ対策

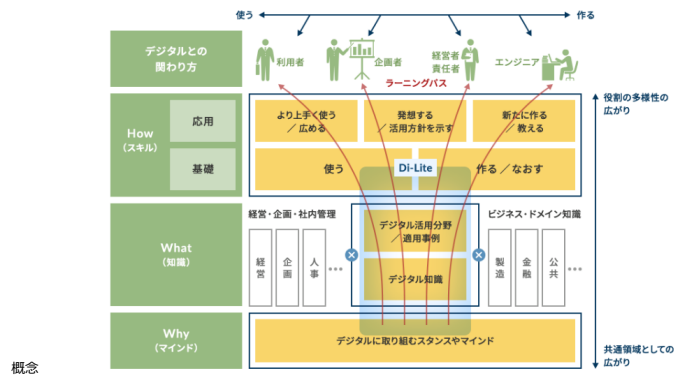
- 3 「デジタルリテラシー」習得の啓発、推進**

デジタルトランスフォーメーションの推進には、これまでの「デジタルを作る人材」だけでなく、「デジタルを使う人材」

中小企業が、ビジネスを発展させるためには、攻めのIT投資とサイバーセキュリティ対策を講ずる必要がある

2 中小企業支援の戦略

- 3 「デジタルリテラシー・スキルフレームワーク」で網羅的・体系的に**



- 3 実施に当たって** 公務員倫理、東京都コンプライアンス、職業倫理に沿って行動する

- 3 中小企業のセキュリティ対策を支援する組織として、「デジタルリテラシー・スキルフレームワーク」に沿って、中小企業を支援するための、体系的・網羅的な知識・スキルの保有に努める。**

2 専門員の業務実施戦略

- 3 成果の見える化**
 - 専門員の所掌事務を具体的な業務として目標を設定し、その目標の達成を評価
 - 設定した目標の達成に向けて調査・分析した情報が、組織の共有知識として蓄積されるように、体系化して形式知化（ドキュメント化）する
- 3 スキルの向上**
 - 専門員としてのスキル、知識の向上を図り、モチベーションを維持する（スキル・知識を陳腐化させない）
- 3 情報の収集**
 - 4 一般的な知識は浅くても広く**
 - 最新のITおよびセキュリティ関連動向を、文献調査、セミナー等により見聞し、情報の所在、概要を収集する
 - 4 専門的な知識は深く**
 - 見聞した情報では、実践的な知見が得られない最新の技術に関しては、試行・実践により、実践的な技能を収集する
- 3 情報の整理・知識化**
 - 収集した知識を整理して、ドキュメント化し、組織の体系的・網羅的な知識として蓄積する
- 3 知識の発信**
 - 集積した知識は、費用対効果を考慮して、効率的な手段で、効果の高い内容を優先的に発信する

1 Sec01-08-2-5_専門員業務ハンドブック【要約】

